



ふじ美が原

富士見中学校

令和5年度 1学期終業式より

一学期終業式 校長先生の話

四月六日に新入生を迎えスタートした令和五年度の一学期も、十三日間の教育課程を修了し明日から夏休みとなります。

先ほどは、三人の皆さんから一学期を振り返りながら、自分自身に起きた良い変化や今後の更なる自分のアップデートに向けたテーマを発表してもらいました。三人の自分自身の変化を鋭く振り返る力や堂々とした発表の姿に感心させられました。三人の皆さんの発表は、全校の皆さんにとっても大いに参考となる素晴らしいものでした。ありがとうございます。

さて、この一学期は、三年生は四年ぶりに奈良・京都への修学旅行に行くことができましたね。また、星野富弘君のための詩画展が開催され、全校のみんなが作品を直接見て感じたり考えたりする機会を得ることができました。また、それに合わせて富弘美術館の館長、聖生 清重さんのお話を伺う機会にも恵まれました。五月には、人権旬間に合わせて、宝の島を探検す

る時にどんな動物を連れていくのかを考えることを通して、多様性、つまり、人と違っていることこそ素晴らしいというところについて全校のみんなと一緒に考える時間もいただきました。このほかにも、いろんな行事や毎日の授業の中でたくさんさんの学びを積み重ねてきました。

たくさんさんの学びを通して、皆さんにたくさんさんの良い変化があったと思います。今日は、皆さんに一学期に自分自身に起きた良い変化を振り返って欲しいと思います、入力フォームを用意しました。終業式の後、Chromebook を使って記入してください。どのような良い変化があったのか、読ませてもらうのを楽しみにしています。

さて、今日は、一学期のまとめとして「勇気」についてお話をします。みなさんは、「勇気のある人」というとどのような人を思い浮かべますか？ ちょっと考えてみてください。・・・オンラインでなければ何人かに聞いてみたいところですが、皆さんはどのような人を思い浮かべたでしょうか。

あるとき、全校が体育館に集まる機会がありました。私はその様子を見ながら、皆さんが通り過ぎるのを待って

いました。さすがは富士見中の皆さんです。黙って整然と体育館に入場していきます。

ところが、二年生が私の前を通り過ぎていくときに、ある人が私に向かって「こんにちは」と挨拶をしてくれたのです。すると、その後、どうなったと思いますか？・・・次々と通りかかった皆さんが私に挨拶をしながら入場していきました。すごくないですか？

この出来事を振り返ってみると、誰だか分からなかったのですが、みんなが黙って歩いていたら、最初に「こんにちは」と声を出した人は、きっとものすごく勇気が必要だったのではないかと思います。どうでしょうか。たった一言ですが、少なくとも今の私は、とても最初の人になる勇気はもっていません。五十歳をとくに過ぎていくにもかかわらずです。挨拶を富士見中の三本柱の一つにしているとはいえ、本当にすごい人だなと感じますし憧れます。ものすごい勇気だと思います。

よく自分を振り返って考えてみると、例えば、かつて自転車の二人乗りとか横断歩道が近くにあるのにそこを渡らないとかといった良くないことを

したときよりも、いいことをするには圧倒的にもすごく勇気がいると思います。簡単ではないんです。

この写真を見てください。



これは、ある日の松本駅前です。食事会があつてその帰りに撮影した写真なのですが・・・。食事会に行くとき、この場所には何人も人が集まり、座り込んで宴会みたいなのをしていました。きつとその時のゴミを持ち帰らずに散らかしていったのでしよう。と

ても悲しいことです。

それはさておき、今日はこの写真を撮影している私がテーマです。おいおい！ゴミくらいちゃんと片付けるよ！と思いつつ、いかにも自分は正しいと言わんばかりに写真を撮っているのですが、結局私にはゴミを拾う勇気が出せませんでした。ゴミ一つ拾えないのです。皆さんはどうですか？教室や廊下、通学路に落ちてているゴミは拾えますか？

皆さんには、他の人がやっていなくても、それがいいことであれば堂々とやる本当の勇気をもって欲しいと思います。仲のいい人ばかりではなく、普段あまり仲良くしていないクラスメイトや他の学年の人、登下校中などに会った地域の人にも大きな声で挨拶ができる勇気をもちましょう。落ちているゴミを拾える勇気をもちましょう。思い立ったが吉日ということわざがあります。今日の下校時には、早速勇気を出して出会った人みんなに挨拶してみましよう。

先生も、たとえ一人であっても、それがいいことなら、やる勇気ももてるように、かなり歳はとつていますが、皆さんと一緒に頑張りたいと思います。

いよいよ明日から、二十九日間にわたる夏休みが始まります。ワクワクしますね。どうしてワクワクするのでしよう？それは、時間の使い方を自分で決められるからではないでしょうか。始業式で「自分で考え、自分で判断し、自分から行動する」という「自己決定」の大切さについて話しましたが、まさにその自己決定の力が試されますね。自分で自分をコントロールして、素敵な夏休みにしてください。

でも、交通事故に遭ったり、病気にかかったり、ケガをしたりしてしまつてはせっかくの夏休みが台無しになってしまいます。交通ルールは守る、安全確認を確実にする、人混みから戻つたら必ず手洗いやうがい、消毒を徹底する、危険な箇所には絶対に近づかないなど基本的なことが楽しい夏休みに繋がります。また、どうやら町内各所にたぐさんのサルが出没しているようです。目を合わせるとサルが危険を感じて襲ってくることもあるようです。見かけたら、近づかない、目を合わせない、大声を出したりものを投げたりするなどサルを刺激しないようにし、静かに離れるようにしましょう。

それから、時には悩みを抱えて苦しむことがあるかも知れません。そんな

ときは、一人で悩みを抱え込まず、必ず誰かに相談してください。身近な大人に相談しにくかったら、二十四時間相談に乗ってくれる相談窓口もあります。必ず力になってくれますから、ネット検索してください。

それでは、自分を更にアップグレードできる夏休みしてください。そして、八月二十三日に元気な皆さんと会えるのを楽しみにしています。



生徒代表意見発表会

一学期を振り返って

振り返って

一年一部

中莖 美羽

私は一学期を振り返ってみると小学生の頃との違いがたく

さんあったなと感じます。例えば、クラスの人数の違いです。私は今まで、全校生徒が約百十人しかいない小学校に通っていたので、富士見中学校に来て一学年だけで百十六人いるということに驚きました。それと同時に、こんなにたくさん人がいる中で他の小学校に通っていた人たちとも仲良くなれるか不安でした。それでもクラスのみんなとレクをしたりしていくうちに、だんだんとみんなの仲が深まりました。二学期ではもともと仲を深めていきたいです。

勉強面では授業の内容が小学生の時よりも難しくなりました。そして、教

科ごとに先生が変わるようになりました。私は最初、中学校には怖い先生しかいないというイメージがあつて不安でした。でも、実際はどの先生も優しく、授業の時も丁寧に勉強を教えてくださいました。そのおかげもあって、一学期の期末テストではいい結果を出せました。二学期も先生方に感謝しながら、真剣に学習に取り組みたいです。この他にも色々なことがあつたけど、とても充実した一学期でした。一学期に学んだことを二学期に生かして生活できるようにしたいです。

一学期を振り返って

二年一部 細田 遥平

クラス替えから始まった一学期は、「誰と一緒にのクラスになるんだろう」というワクワクした気持ちと、「決まったクラスで仲良くやっていけるのかな」という不安な気持ちでスタートしました。

クラス発表では仲の良い人や一年生

の時にクラスが同じだった人はもちろん、話したことのない人もいました。僕は不安な気持ちの方が大きくなり、心臓がバクバクしていました。以前までの僕は人から話しかけられるのを待って、話しかけられたらそこからだんだん仲良くなっていくという感じでした。と関わりを持つてきました。でも、それだと話しかけられなければ仲良くなれません。そのため、今学期は自分から話しかけることを大切にして人と関わってきました。そしたら、その人と仲良くなれてとても嬉しかったです。

他の人ともその方法で仲良くなれて、クラス替え後の一つの難関である「新しい友達を作る」を達成しました。次に僕が一学期に意識したことは、

富士見中の三本柱である「挨拶」「清掃」「合唱」です。まず、挨拶は教室に入る時や挨拶運動の時などにしっかりと挨拶することを心がけてきました。次に清掃ですが、担当の掃除場所をきれいにすることはできましたが、無言清掃ができていなかったと感じました。そこで二学期は清掃に力を入れていきたいです。次に、合唱は聴いている人の耳にしつかり声が届くような歌声で歌えたいし、クラスで合唱をより良いものにしていくために自分の力を出

していくことができました。二学期には合唱祭があるのでクラスで協力していききたいです。三本柱については良いところもありましたが、課題も残りしました。二学期ではその課題を克服できるようにしたいです。

最後に、今学期に僕が頑張ったことはテストです。僕は一年生の頃からテストの点数が徐々に下がってきています。そこで今回のテストで点を上げられるように、テスト勉強を頑張りました。毎日頑張ったおかげでテストの点が上がりました。二年生最初のテストで良い点を取ることができてよかったと思います。

一学期はたくさんさんのことがありました。一学期で成長できたことはさらに伸ばして、一学期で見つけた課題は二学期で克服していきたいです。二学期には白鈴祭や合唱祭、生徒会引き継ぎなどがあります。二学期は三年生になる準備として、だらしのない先輩にならないよう、日々の生活を見直していきたいと思えます。



一学期の振り返りと

二学期に向けて

三年三部 後藤 悠隆

僕は、一学期に頑張ったといえることや、課題だと感じたことがあります。最初に頑張ったといえることについて話します。

一つ目は、部活動です。僕はテニス部に所属していましたが、一年生と二年生の最初の頃はまったくもって上手な選手ではなく、むしろ下手な方でした。それは才能の差ではなく、練習量の差によるものだと思います。僕は努力することが苦手だったので、二年生まではあまり練習をしていませんでした。しかし、何度も負け続けている内に、「このままずっと負け続けて、引退のかかった最後の大会でも一勝もできないのはいやだ」と思うようになっていきました。三年生になり、自主練習に積極的に参加したり、どうやったら勝てるのかを一生懸命に考えたり、今の自分にできるかぎりの努力をしました。意識して努力を続けていくうち

にだんだんと勝てたり、強い相手ともまともに打ち合えたりと多くのことができるようになり、大会でも四回戦まで勝ち進むことができました。

二つ目は、勉強です。僕は部活を通して努力ができるということ、努力は正しい方法で続けられ少しずつ上達していくことができると感じました。中体連が終わり、部活を引退してから勉強を頑張りました。その結果、今までわからなかった部分がわかるようになり、以前よりも早く問題を解くことができるようになりました。

一学期を通しての課題だと感じたこととして、提出物について考えること、受験に向けた勉強を続けることです。僕はこれまでずっと宿題や提出物を出さなくても問題ないだろうと思っていたからです。しかし、三年生になり、進路の提出物も少しずつ増え、提出物の期日を意識するようになりました。

また、部活を引退した後から勉強を頑張りました。しかし、どこがわかっていないのかということや勉強時間の少なさ、やる気の無さなどの所為で今回のテストの点数が大きく下がってしまいました。

入試に向けて、テストの回数も増え、それまでやっていなかった宿題や自主

学習もやらなければ、授業の内容についていけなくなってしまう。これらの課題を解決するために、僕はこれから、ある一つのことを行っていきます。

それは、「やる気に頼らないで習慣にする」です。僕はいつも「やる気が出ない」と言って勉強やめんどくさいと思ったことから逃げていました。しかしこれからは、出された宿題や提出物は一問、一文、一分でよいのですぐにやり、それを続けていくことで習慣にしていきます。二学期は、何事にもやり始めるきっかけをつくり、やる気に関係なく何かに打ち込むことができるようにしていこうと思います。



編集後記

向日葵は 金の油を 身にあびて

ゆらりと高し 日のちひささよ

前田 夕暮

コロナウイルス感染症が五類に分類されてから初めて迎える夏休み。家族で出かけたり、ゆっくり過ごしたりすることを楽しみにしている人も多いようです。

皆様の夏が健やかで充実した時間になりますように。

富士見町立富士見中学校

諏訪郡富士見町富士見四六五四番地

TEL 0266-62-2009

FAX 0266-62-7409

担当 宮坂 東